202311(1)

家庭用

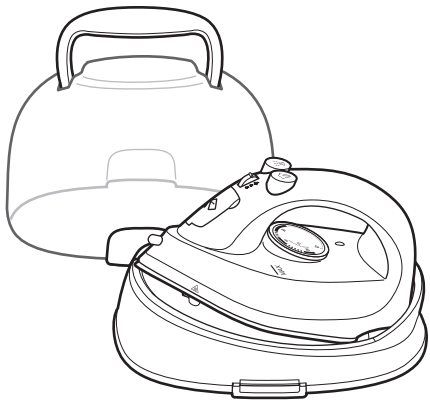
コードレススチームアイロン

品 番： YSA10L

取扱説明書

■ 安全上のご注意 2
■ 使用上のご注意 6
■ 各部のなまえ 7
■ 付属品 7
■ 使いかた 8
収納ケースの取り外しかた 8
タンクに水を入れる（スチームで使用するとき） 9
電源を入れる 10
スチームで使用する 11
ドライで使用する 12
ショットボタンを使う（スチームで使用するとき・ドライで使用するとき） 13
スプレーボタンを使う（スチームで使用するとき・ドライで使用するとき） 13
上手な使いかた 14
■ お手入れのしかた 15
保管のしかた 15
廃棄について 15
■ 困ったときは 16
■ おもな仕様 17
■ 保証書 18
保証規定 19
■ アフターサービス 20

Yselect



はじめにお読みください

このたびは弊社の製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、内容を十分理解されたうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、内容を十分理解されたうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくご使用いただき、お使いになる人やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠	注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。	⃠	禁止の行為であることを告げるものです。	❗	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

一般的な注意事項

⚠ 警告

分解禁止	**お客様自身による分解・修理・改造はしない** 火災・感電の原因になります。本製品の点検・修理は販売店または弊社お客様サポートセンターにご依頼ください。
電源プラグを抜く	**異常・故障時には直ちに使用を中止する** ・電源プラグや電源コードが異常に熱い。 ・電源プラグや電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ・異臭や異音がする。 ・煙が出ている。 ・本体が変形したり、異常に熱くなる。 ・運転中に時々止まる。 ・触れるとビリビリと電気を感じる。 火災・感電の原因になります。 このようなときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または弊社お客様サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。
電源プラグを抜く	**万一、本製品を落としたり破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社お客様サポートセンターに連絡する** そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

禁止	**本書に記載以外の用途や方法で使用しない** けがや事故の原因になります。
禁止	**業務用として使用しない** 本製品は一般家庭における屋内での使用を想定した製品です。業務用途では絶対に使用しないでください。

電源コード・電源プラグについて

⚠ 警告

禁止	**電源プラグ・電源コードを加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、キズつけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない** 火災・感電・故障の原因になります。
禁止	**表示された電源電圧、交流 100V 以外の電圧で使用しない** 火災・感電の原因になります。
必ず守る	**電源プラグは定格 15A のコンセントを単独で使用する** たこ足配線をするとコンセント部分が異常過熱して火災・感電の原因になります。

安全上のご注意(つづき)

電源コード・電源プラグについて（つづき）

⚠警告

禁止	**延長コードなどを使用しない** 火災・感電の原因になります。
ぬれ手禁止	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない** 火災・感電の原因になります。
必ず守る	**電源プラグ・電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店または弊社お客様サポートセンターに交換を依頼する** そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
禁止	**電源コードを束ねた状態で使用しない** 火災・感電の原因になります。
禁止	**電源コードがねじれたまま使用したり、保管しない** 電源コードに負荷がかかり断線し、感電・やけど・火災の原因になります。

⚠注意

必ず守る	**電源プラグは奥まで確実に差し込み、固定されていることを確認する** 火災・感電の原因になります。
必ず守る	**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く** 感電・故障の原因になります。
電源プラグを抜く	**使用時以外は、安全のため必ず温度調節ダイヤルを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く** 感電・火災の原因になります。
必ず守る	**電源プラグのホコリや汚れは、定期的に乾いた布で拭き取る** ホコリなどが付着するとショート・火災の原因になります。

使用方法について

⚠警告

水ぬれ禁止	**本製品や電源プラグ、電源コードを水に浸けたり、水をかけたりしない** ショート・感電・火災・故障の原因になります。
水ぬれ禁止	**水まわりや風呂場など水のかかる場所では絶対に使用しない** 火災・感電の原因になります。
ぬれ手禁止	**ぬれた手で使用しない** 感電の原因になります。
禁止	**可燃物の近くで使用しない** 火災の原因になります。
禁止	**子どもや身体の不自由な方だけで使用したり、幼児の手の届く所で使用・保管・放置しない** **また、製品で子どもが遊ばないようにする** 感電・けが・やけど・事故の原因になります。
禁止	**本製品に損傷や水漏れがある場合は使用しない** 火災や感電の原因になります。
禁止	**電源プラグをコンセントに差し込んでいる間は本製品から離れない** 火災の原因になります。
禁止	**使用中や使用直後は、高温部に手を触れない** やけどの原因になります。

⚠注意

禁止	**ホコリの多い場所で使用したり保管・放置しない** 火災の原因になります。
禁止	**本製品のそばにスプレー缶やガスボンベ、ライターなどの引火や発火の危険性があるものを置かない** **また、これらのものを近くで使用しない** 発火・爆発・火災・故障・けがの原因になります。

安全上のご注意(つづき)

使用方法について（つづき）

⚠注意	
禁止	**本製品をぶつけたり、落としたり、強い衝撃をあたえない** 故障・破損の原因になります。
必ず守る	**注水時、排水時には電源プラグを抜く** 感電の原因になります。
禁止	**蛇口から直接注水しない** 感電や火災・故障の原因になります。
禁止	**使用時や収納時に電源コードを本体に巻きつけない** 感電・火災の原因になります。
必ず守る	**アイロンがけをするときは必ず目立たない所で試しがけをする また、生地のテカリを防止するために、あて布をする**
禁止	**着用したままの衣服に使用しない** やけどの原因になります。
必ず守る	**湿った衣服（霧吹きした衣類）はドライでアイロンがけをする** スチームでアイロンがけをすると湯滴が出てやけどの原因になります。
禁止	**スチームを身体にかけない また、人に向けてスチームを出さない** やけどの原因になります。
禁止	**スチームやスチーム噴出口付近、かけ面などの高温部に触れない** やけどの原因になります。
禁止	**スチーム使用時に本製品を傾けたり、激しく動かさない** 水漏れや、やけどの原因になります。
必ず守る	**スチーム使用時は、必ず温度調節ダイヤルをスチーム使用範囲に合わせる** 温度が低いとお湯が漏れる原因になります。

⚠注意	
禁止	**スチームを切ったあとも、残ったスチームが出る場合があるため、手や顔を近づけない** やけどの原因になります。
禁止	**ショットボタンを2秒より早く連続して押さない** 湯滴が出てやけどの原因になります。
禁止	**パワースチームの勢いが弱くなったらショットボタンを押さない** 湯滴が出てやけどの原因になります。
禁止	**パイロットランプ点灯中にショットボタンを押さない** 湯滴が出てやけどの原因になります。
禁止	**水道水以外は使用しない** 故障や衣類が汚れる原因になります。
禁止	**調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かない** 火災・感電の原因になります。
必ず守る	**本体を持ち運ぶときは、本製品が十分に冷めていることを確認する** けがややけどの原因になります。
禁止	**熱や湿気に弱い壁や家具などの近くで使用しない** 壁や家具を傷める原因になります。
必ず守る	**本体を置くときは必ずスタンドを使用する** やけど・火災の原因になります。
禁止	**スタンドに置いているときにスチームを使用しない また、スチームが出ている間はスタンドに置かない** やけどの原因になります。
禁止	**スタンドをぐらついた台の上やすべりやすい場所、傾いた所など、不安定な場所に置かない** 落ちたり、倒れたりして、やけどや故障、けがの原因になります。

安全上のご注意(つづき)

使用方法について（つづき）

⚠注意	
禁止	スタンドを熱に弱い台や敷物の上で使用しない 火災の原因になります。
禁止	本体内部にピンや針金などを入れない また、縫い針などを刺したままの布地に使用しない 火災や故障の原因になります。
禁止	織物製品以外（皮革製品など）に使用しない 製品を傷める原因になります。
必ず守る	高級品や特殊加工品、その他の生地は洗濯表示のアイロン記号に従うこと 衣類を傷める原因になります。

お手入れ・保管について

⚠警告	
電源プラグを抜く	お手入れの際は、安全のため温度調節ダイヤルを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いておこなう 火災・感電の原因になります。
使用禁止	お手入れの際、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジンなど）、みがき粉、金属たわしなどは使用しない 変形・変色・キズなどの原因になります。
必ず守る	お手入れは必ず冷めてからおこなう やけどの原因になります。
必ず守る	使用後は水タンク内の水を抜いて保管する 水タンク内の水がこぼれたり、次回使用時に電源を入れるとスチームや熱湯が噴き出ることがあります。

使用上のご注意

①ご注意

下記の製品には使用しないでください。
- 織物製品以外（皮革製品など）
- 高級品や特殊加工品（ベルベット、カシミヤなど）

- 布地に絵表示がある場合は、絵表示に従って温度を設定してください。
- 混紡の場合は、対応温度が低い方の繊維に温度を合わせてください。
- 絵表示がない生地の場合は、温度調節ダイヤルを「低」に合わせて必ずあて布をし、目立たない場所で試しがけをしてからご使用ください。
- 使用中にアイロンを布地の上で止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると、布地に合った温度でも布地を傷める原因になりますのでご注意ください。
- 熱に弱い繊維へご使用になる場合は、必ずあて布をし、目立たない場所で試しがけをしてからご使用ください。

絵表示の見かた

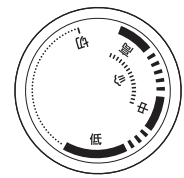
	底面温度 110°Cを限度として、スチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。		アイロン使用不可。

※その他、「スチーム禁止」などの表示がある場合は、その指示に従ってください。

絵表示と温度の関係

絵表示			
布地・繊維の種類	アクリル、アクリル系、ポリプロピレン、ポリウレタン	絹、毛、ナイロン、レーヨン、キュプラ、ポリエステル	綿、麻
温度設定位置	**低**	**中**	**高**
かけ面の温度	約 110°C	約 150°C	約 200°C
設定温度到達時間	約 40秒	約 50秒	約 70秒

温度調節ダイヤル

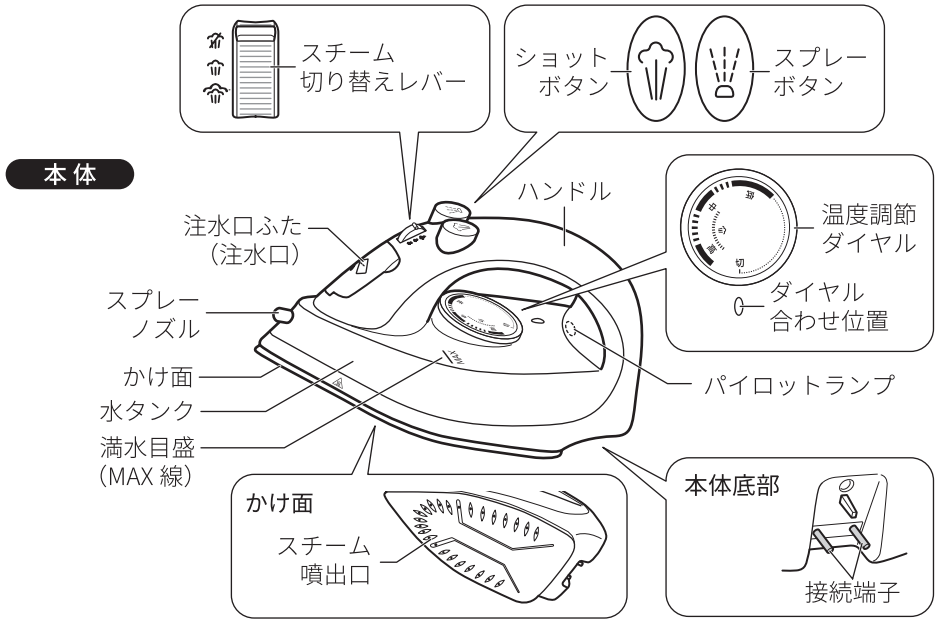


低：約 110°C
中：約 150°C
高：約 200°C

※設定温度到達時間は、本体が冷めている状態からの時間の目安です。また、室温などによって異なります。

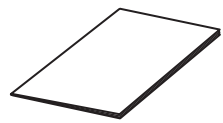
※表示されている温度は、ドライでの目安です。

各部のなまえ



付属品

以下の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

		
収納ケース 【1個】	注水カップ 【1個】	取扱説明書／保証書 【1部】

※本書に記載のイラストは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

使いかた

ⓘご注意

- 交流 100V以外では使用しないでください。また、コンセントは単独で使用し、たこ足配線などはしないでください。火災・感電の原因になります。
- 子どもや身体の不自由な方だけで使用させないでください。また、子どもの手が届く所で使用しないでください。感電・けが・やけどの原因になります。
- 持ち運びの際は注水口を下にしないでください。水漏れの原因になります。
- 本体を熱に弱いビニールクロスやフローリングなどの上に置かないでください。変色・変形・火災の原因になります。

お知らせ　本製品をご使用になる前に―必ずお読みください―

- 着用したままの衣服に使用しないでください。やけどの原因になります。
- 必ず目立たない部分で試してからご使用ください。
- 皮革製品、人口皮革製品、高級品、特殊加工品、着物などには使用しないでください。縮みや変色の原因になります。
- 起毛した衣服に使用すると、毛並みが乱れて変色したように見えることがあります。必ず目立たない部分で試してからご使用ください。

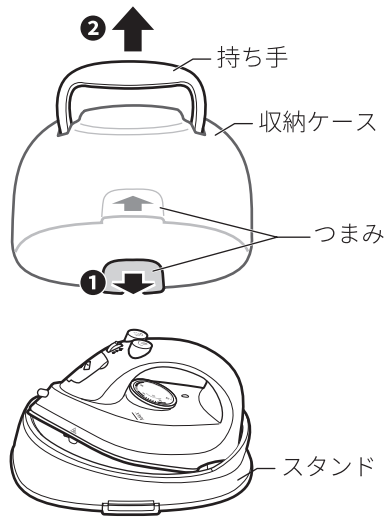
収納ケースの取り外しかた

収納ケース両側にあるつまみの下部を外側に広げながら（❶）、ケースを持ち上げて取り外す（❷）

使用しないときや本体を保管するときは、本体をスタンドに置いて収納ケースを取り付けてください。また、スタンドを不安定な場所や、熱に弱い敷物（じゅうたん・畳・ビニールクロスなど）の上に置かないでください。

ⓘご注意

- 収納の際は電源プラグを抜き、必ず本体（かけ面など）が冷めてから収納してください。



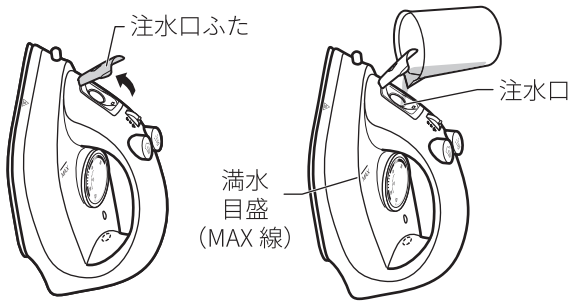
使いかた(つづき)

タンクに水を入れる（スチームで使用するとき）

温度調節ダイヤルを必ず「切」にし、注水口ふたを開いて付属品の注水カップで水を入れ、注水口ふたを閉める

注水の際は、付属品の注水カップを使用してこぼさないように少しずつゆっくりと入れてください。
注水口ふたはしっかりと押し込んで閉めてください。

※ 満水目盛（MAX線）以上に水を入れないでください。



ⓘご注意

- **はじめてお使いになるときや、しばらくお使いにならなかったときは、衣類に使用する前に必ずスチームで約5分運転してからご使用ください。衣類に白い粉や汚れがつくことがあります。**
- 注水カップのMAXの目盛り以上の水を入れないでください。水漏れの原因になります。
- 注水の際は、本体を少し傾けて注水してください。
- 蛇口から直接水を入れないでください。また、注水口以外に水がかかった場合は拭き取ってください。
- 水を入れた状態で傾けたり、激しく動かすと水漏れする場合があります。
- 使用後は必ず水タンク内の水を抜いてください。水タンク内の水がこぼれたり、次回使用時に電源を入れた際、スチームや熱湯が噴き出ることがあります。
- 水道水以外の液体（リネンウォーター、香料を含んだ水など）を入れないでください。故障や衣類が汚れる原因になります。
- 40℃以上のお湯を入れないでください。故障の原因になります。
- 注水の際は、ショットボタン、スプレーボタンやスチーム切り替えレバーに水がかからないように注意してください。

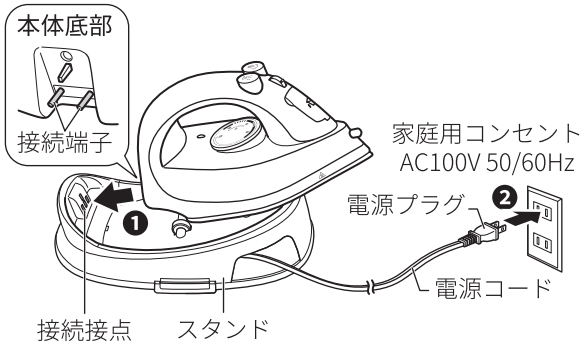
使いかた(つづき)

電源を入れる

1 **本体をスタンドにセットし(❶)、電源プラグをコンセントに差し込む(❷)**

本体底部の接続端子がスタンドの接続接点にしっかりと当たるようにセットしてください。

※ スタンドに正しくセットされていないと、温度調節ダイヤルを回してもアイロンが熱くなりません。



ご注意

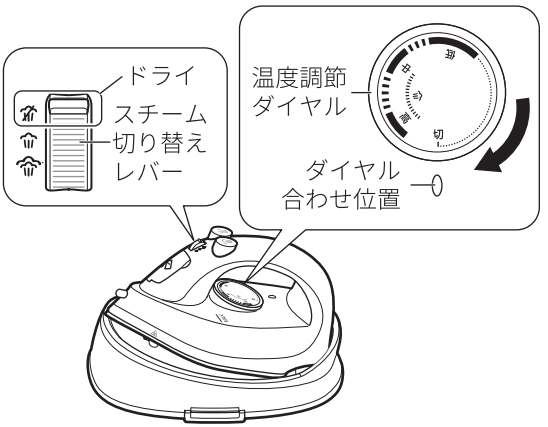
- 水平で安定した場所に置き、本体がぐらつかないようしっかりとスタンドに載せてください。やけどの原因になります。
- 電源コードは電源コード収納部からすべて引き出して使用してください。収納したまま使用すると、内部で発熱して変形や火災の原因になります。

2 **スチーム切り替えレバーが「ドライ」になっていることを確認し、温度調節ダイヤルをお好みの温度に合わせる**

パイロットランプが点灯し、予熱が開始されます。
予熱が終了すると、パイロットランプが消灯します。
本製品は、スチームまたはドライでお使いいただけます。

※「スチームで使用する」(➡ 11ページ)参照

※「ドライで使用する」(➡ 12ページ)参照



自動電源オフ機能について

電源が入った状態でスタンドに本体を置いたまま操作せずに約8分経つと、自動的に電源が切れます。

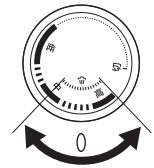
※ 再度使用するときは、一度スタンドから本体を持ち上げ、本体底部の接続端子がスタンドの接続接点にしっかり当たるようにセットすると電源が入ります。

使いかた(つづき)

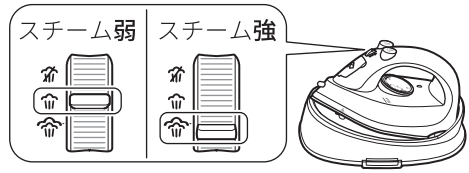
スチームで使用する

1 **温度調節ダイヤルをスチームの範囲内に設定する**

※ 布地に適した温度に設定してください。



2 **(パイロットランプが消灯したら)スチーム切り替えレバーを「スチーム弱」または「スチーム強」に切り替える**



3 **アイロンをかける**

途中で温度が低くなったときや一時的にスタンドに置くときは、スチーム切り替えレバーを「ドライ」に合わせてスタンドに置いてください。

※ スチームは非常に高温ですのでご注意ください。

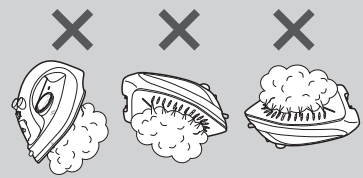
※ 連続してスチームが使用できる時間は約30秒 (設定温度「高」、「スチーム強」使用時) となります (使用条件により異なります)。

※ 「上手な使いかた」(➡ 14ページ) 参照

※ スチームの連続使用時にかけ面の温度が下がったとき、また水タンク内の水がなくなったときは、スチームの量が少なくなることがあります。

ⓘご注意

・ 本体の先端を下に向けたり、上部を逆さまにして使用しないでください。水漏れによる故障などの原因になります。



4 **使用後はスチーム切り替えレバーを「ドライ」に切り替えてから本体をスタンドにセットし、温度調節ダイヤルを「切」に合わせて電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く**

※ 温度が下がるまでしばらくの間はスチームが出続けます。
また、その際にスチーム噴出口からお湯が漏れる場合がありますのでご注意ください。

ⓘご注意

・ 使用直後の本体や水タンク周辺などは非常に高温になっていますので、十分ご注意ください。

使いかた(つづき)

5 **本体が完全に冷めたら、注水口ふたを開いて本体を逆さにしながらよく振り、残っている水を捨てる**
排水が終わったら、注水口ふたを再び閉める

水漏れなどの原因になるため、残った水はすべて排水してください。

※ 排水したあとはスチーム切り替えレバーを「ドライ」、温度調節ダイヤルを「高」に設定し、約5分通電して本体内部を乾燥させてください。

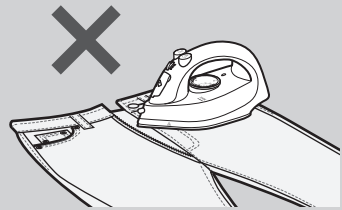
低温水垂れ防止機能について

使用中にアイロンかけ面の温度が下がると、自動でスチームが止まります。
本体をスタンドに戻し、点灯したパイロットランプが消灯してから再度お使いください。

ドライで使用する

ご注意

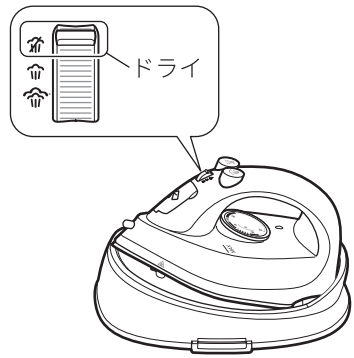
・ ファスナー、ボタンなどの硬いものにかけ面をあてないでください。本体（かけ面）を傷つける原因になります。



1 **スチーム切り替えレバーが「ドライ」になっていることを確認し、パイロットランプが消灯したらアイロンをかける**

途中で温度が低くなったときはスタンドに置いてください。

※「上手な使いかた」（➡ 14ページ）参照



2 **使用後は温度調節ダイヤルを「切」に合わせて電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く**

ご注意

・ 使用直後の本体や水タンク周辺などは非常に高温になっていますので、十分ご注意ください。

使いかた(つづき)

ショットボタンを使う（スチームで使用するとき・ドライで使用するとき）

ショットボタンを押すと、パワースチームが出ます。

1 **温度設定ダイヤルを「高」に合わせる**

2 **ショットボタンを押す**

かけ面の温度が下がるとパワースチームの勢いが弱くなります。パワースチームの勢いが弱くなったら、スチーム切り替えレバーを「ドライ」に切り替えてからスタンドにセットし、点灯したパイロットランプが消灯してから再度お使いください。

※ スタンドから外しておこなえるショットの回数は3～5回です。

ⓘご注意

- 使い始めにショットが出にくいときは、ショットボタンを数回押してください。
- かけ面を衣類から離し、目立たないところで試しがけをしてから使用してください。
- パワースチームは2秒以上間隔を空けて使用してください。
- パワースチームの勢いが弱くなったらショットボタンを押さないでください。スチーム噴出口から湯滴が出てやけどの原因になります。

スプレーボタンを使う（スチームで使用するとき・ドライで使用するとき）

スプレーボタンを押すと、スプレーノズルから霧吹きができます。

本体を水平にし、布から10cmくらい離してスプレーボタンを押す

ⓘご注意

- 使い始めにスプレーが出にくいときは、スプレーボタンを数回押してください。
- 目立たないところで試しがけをしてから使用してください。

使いかた(つづき)

上手な使いかた

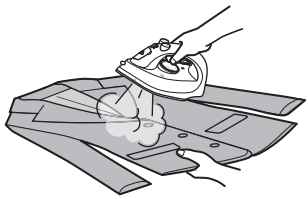
ⓘご注意

・ スチーム噴出時に白い粉が噴出口周辺や衣類に付着することがありますが、これは水に含まれる鉱物質であり異常ではありません。衣類についたときは、手で払ってお取りいただける場合があります。
また、ご使用の前に不要な布の上でスチームを出してからお使いください。

衣類に適したスチームアイロンのかけかた

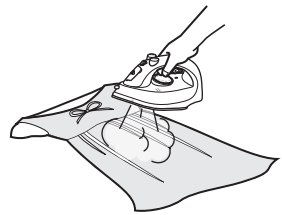
スチームの設定	使用に適した生地
弱	薄い布地や混紡など
強	厚い布地や綿、麻など

● 厚手の生地の衣類
● スーツの肩など、アイロンがけしにくい立体部分



アイロン台などに水平に置き、端を引っ張りながらコードレススチームアイロンで衣類をゆっくりと軽くなでるようにスチームをかけるとしわが伸ばせます。

● 薄手の生地の衣類
● 毛足の長いコートなど



アイロン台などに水平に置き、コードレススチームアイロンを少し離してスチームを吹きかけます。毛足の長い衣類はスチームを吹きかけ、軽くブラッシングをしてください。

衣類に適したドライアイロンのかけかた

● シャツ・ブラウスなど
袖口や襟などはアイロン台を使って仕上げてください。

● ハンカチなど
手のひらでしわを伸ばし、アイロン台を使って仕上げてください。

● ズボンの折り目など
アイロン台の上で折り目を整え、あて布をして折り目に沿ってゆっくりアイロンをかけてください。

お手入れのしかた

警告

本体や電源プラグ、電源コードを水に浸けたり、水をかけたりしない

ショート・感電・火災・故障の原因になります。

注意

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなう

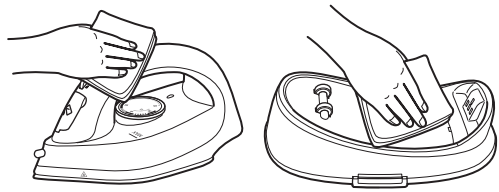
火災・感電の原因になります。

ご注意

- お手入れは必ず本体が冷めていることを確認してからおこなってください。
- お手入れの際、酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジンなど）、みがき粉、金属たわしなどは使用しないでください。変形・変色・キズなどの原因になります。

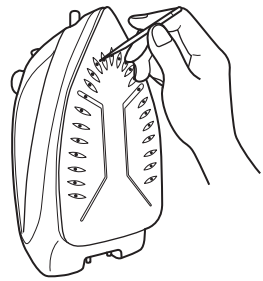
本体・スタンド・収納ケースのお手入れ

乾いたやわらかい布または水を含ませ固く絞ったやわらかい布で、本体の汚れを拭き取ります。汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、固く絞った布などで洗剤分を拭き取ってください。



スチーム噴出口のお手入れ

つまようじなどで水垢やごみを取り除いてください。



保管のしかた

お手入れをしたあと、水タンク内にホコリが入らないように注水口ふたをきちんと閉め、湿気の少ない場所に保管してください。

廃棄について

● 本製品を廃棄するときは、廃棄する地域の行政・自治体などの指示に従い、適切な方法で廃棄してください。

困ったときは

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。
修理を依頼される前に、下表で確認してください。それでも症状が改善されない場合はお買い上げの販売店、または弊社お客様サポートセンター（➡裏表紙）までご相談ください。

症 状	考えられる原因	対処方法
かけ面があたたまらない	・電源プラグが抜けている。 ・電源プラグが抜けかかっている。	・電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	・温度調節ダイヤルが「切」になっている。	・温度調節ダイヤルを回してお好みの温度に合わせてください。（10ページ参照）
	・本体がスタンドに正しくセットされていない。	・本体底部の接続端子がスタンドの接続接点にしっかりと当たるようにセットしてください。
スチーム（蒸気）が出ない	・電源プラグが抜けている。 ・電源プラグが抜けかかっている。	・電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	・温度調節ダイヤルが「切」になっている。	・温度調節ダイヤルを回してお好みの温度に合わせてください。（10ページ参照）
	・ドライで運転している。	・スチームで運転してください。（11ページ参照）
	・パイロットランプが点灯中に使用している。	・パイロットランプが消灯してから使用してください。
	・水が入っていない。	・水を入れてください。
スチーム噴出口から白い粉が出る	・水に含まれる鉱物質ですので異常ではありません。 ※衣類についた粉は払ってお取りいただける場合があります。	・スチーム噴出口のお手入れをしてください。（15ページ参照）
		・不要な布の上でスチームで運転してからご使用ください。
ショットボタンを押したときにスチーム噴出口から水やお湯が出る	・十分に加熱される前にショットボタンを押している。	・パイロットランプが消灯してからショットボタンを押してください。また、パイロットランプが消灯するまではスチーム切り替えレバーを「ドライ」に合わせておいてください。
	・ショットボタンを連続で素早く押している。	・ショットボタンを連続で押すときは、1回押すごとに2秒程あけてください。
スチーム噴出口が詰まる	・きれいな水道水を使っていない。	・きれいな水道水をご使用ください。
	・使用後にきちんと排水をしていない。	・使用後は毎回きちんと排水してください。 （12ページ、手順５参照）

困ったときは(つづき)

症状	考えられる原因	対処方法
スチームが少ない	・スチーム噴出口に水垢やごみが詰まっている。	・スチーム噴出口のお手入れをしてください。(15ページ参照)
	・きれいな水道水を使っていない。	・きれいな水道水をご使用ください。
	・水タンクの水が少なくなっている。	・水を入れてください。(9ページ参照)
	・連続使用時間が長く、かけ面の温度が下がっている。	・本体をスタンドにセットし、パイロットランプが消えてから再度ご使用ください。
水が漏れる	・本体の先端を下に向けている、または本体を逆さにして使用している。	・先端を上向き、または本体を水平にしてご使用ください。
	・注水口ふたがきちんと閉まっていない。	・注水口ふたをきちんと閉めてください。

おもな仕様

品名		コードレススチームアイロン
品番		YSA10L
電源		AC100V 50/60Hz
消費電力		1000W
水タンク容量		約 180ml
温度ヒューズ		240°C
自動温度調節器		調節範囲約 110°C～ 200°C
蒸気発生方式		滴下式
かけ面コーティング		フッ素コート
電源コード長		約 1.6m
外形寸法	本体のみ	223 (L) × 100 (D) × 131 (H) mm
	収納時	284 (L) × 175 (D) × 205 (H) mm
質量	本体のみ	約 640g
	収納時	約 1480g
付属品		注水カップ、収納ケース、取扱説明書／保証書
製造国		中国

※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

保証書

品名	コードレススチームアイロン	品番	YSA10L
お客様	お名前　　様		
	ご住所　〒□□□－□□□□		
	お電話		
お買い上げ日	20□□年□□月□□日		
保証期間	お買い上げ日から　**本体１年間**		
販売店	店　名 住　所 電　話		

見本

※保証対象は本体のみ（付属品は保証対象外）となります。

保証書(つづき)

保証規定

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証書に記載の「保証期間」中に故障が発生した場合は、本製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。所定記入欄が空白のままですと、本書は有効になりません。記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。

- お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

無料修理規定

1. 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、弊社が無料修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理依頼ができない場合には、取扱説明書に記載してあります弊社お客様サポートセンターにご相談ください。
3. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   (イ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷。
   (ロ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
   (ハ) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
   (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
   (ホ) 本書のご提示がない場合。
   (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   (ト) 譲渡、転売、中古販売、オークションなどにて入手された場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

※この保証書は本書で明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

- **本製品以外に間接の損害が生じた場合、不具合の原因が本製品であっても補償は致しかねます。**

アフターサービス

- 万一、本体を落としたり、破損した場合は、点検修理を依頼してください。(有料)
- 本製品は家庭用です。業務用としては使用しないでください。
- 本製品以外に間接の損害が生じた場合、不具合の原因が本製品であっても補償は致しかねます。

保証書

本製品には保証書が付いています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただいたあと、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。

修理を依頼するとき

保証期間中は

製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に従って無料修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後５年です。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明な場合

アフターサービスについてご不明な場合には、弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

長年ご利用のコードレススチームアイロンの点検を！

こんな症状はありませんか？			
	● 電源プラグ、電源コード、本体が異常に熱い。 ● 電源プラグや電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ● その他の異常・故障がある。	➡	**ご使用中止 !!** 故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

- お問い合わせの際は「製品名」・「品番」・「症状」をご確認のうえ、お伝えください。

製品名	コードレススチームアイロン	品　番	YSA10L

製品に関するお問い合わせは

株式会社アズマ
お客様サポートセンター　フリーダイヤル **0120-00-8984**

受付時間　**午前 10 時～午後 5 時**（土・日・祝祭日および弊社指定休業日を除く）

・ 本書に記載された内容の一部または全部を弊社に無断で転載・改変・複写・複製することを禁じます。
・ 改良のため、製品の仕様や外観、および本書の内容を予告なく変更することがあります。

〔輸入発売元〕 **株式会社アズマ**　〒336-0931　埼玉県さいたま市緑区原山３丁目２番 10 号